



サフラン便り

第46号 22年8月15日発行

発行：佐賀県薬剤師会女性薬部会

佐賀市本庄町大字本庄 1269-1

TEL:0952-23-8931 FAX:0952-23-8941

<http://www.sagayaku.or.jp/josei/index.html>

日本女性薬剤師会学術講演会報告

「もっと学ぼう！女性のからだ」 最先端の研究と臨床報告

日時：6月20日(日) 10:00～16:00

場所：星薬科大学 メインホール 東京都品川区荏原2-4-41

講義 **新しい医薬安全行政の展開** 厚生労働省大臣官房審議官 (医薬担当) 岸川 修一先生

- 内容 ・医薬品に関する国際的動向 ・医薬分業と薬剤師の資質向上について
- ・医薬品の開発審査、流通について ・最近の医療機器行政について ・医薬品等の安全対策
- ・監視指導行政 ・血液事業について ・麻薬向精神薬対策について

女性泌尿器科：尿もれ・骨盤臓器脱へのチャレンジ

名古屋第一赤十字病院 女性泌尿器科 加藤久美子先生

- ・過活動膀胱(OAB)の悩みとその対処 ・腹圧性尿失禁(SUI)の悩みとその対処
- ・骨盤臓器脱(POP)の悩みとその対処

ワクチンが登場した子宮頸がんと急激に増加している子宮体がん

- ・子宮の解剖と生理 ・子宮頸がん ・子宮体がん

正しく知ろう関節リウマチ - 診断と治療の最新知識

東京医科歯科大学 大学院歯学総合研究科 薬害監視学講座 針谷 正祥先生

- ・関節リウマチってどんな病気？ ・リウマチの関節内では何が起きているか。
- ・こんな症状に要注意：リウマチの代表的な症状とは ・検査から見る体の変化：リウマチの検査所見
- ・リウマチの診断が変わった：予後改善の第一歩は早期診断から
- ・リウマチの最新治療戦略：キーワードは寛解(かんかい)・リウマチの最新薬物治療
- ・今後はどうなる：リウマチ薬物治療の将来



日本薬剤師研修センターニュース7月号の巻頭で「女性薬剤師会の場合は、会長秋島先生の要請で、薬事審議会の先生や厚生省内の幹部を次々に講師として紹介させていただいたが、薬効薬理から高齢者介護まで幅広い研修をされていた」とあります。この講座は20年以上の歴史があります。厚生労働省大臣官房審議官より直に政府の指針を聞けるのは貴重なことであり、展望が見えてきます。2, 3, 4講義は最先端の研究を日本の第一人者の先生方の講演が聞けました。テキストがありますので、ぜひご覧ください。巻末の資料集は毎回全国の学術委員の方々による、すぐに役立つ資料満載です。

<特別講演会>

日時：6月19日(土) 16時～17時 場所：星薬科大学 2階 研修室

講師：北島悦子先生

演題：チェンジ！！世の中変わってきたと思いませんか。その時あなたは？

- 2010 薬剤師の男女共同参画に関する意識調査から見えること -

報告：総会終了後の講演会講師は、大変です。今回の総会も事例に違わず時間があして講演時間の調整をしていただきました。北島先生はあの歯切れのよい口調で男女共同参画とは「人の多様性」からと講義が始まりました。その人らしさを尊重して生きていける社会が自然であると。男らしく、女らしくという「長い間の慣習や意識が変わらないまま、社会の変化は急激で、その人らしく生きていくのは難しい。内閣府を始め、行政はなぜ、男女共同参画社会を目指しているのかを説明されました。仕事と生活の調和(ライフワークバランス)を考えることは、日本社会の活性化になることの意味が分かりました。大分でのAPEC経済会議で女性の雇用の促進の議題がありました。デフレ社会歯止めの一つのヒントがここにあるのではと思ったのは私だけではなかったと思います。(宮地)



